

# (財)松竹大谷図書館ニューズレター

## Shochiku Otani Library

No. 157(2011年4月)

3月11日に起こった東日本大地震により被災された方、そのご家族・関係者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈りしております。

当館では、地震発生当時2名の閲覧利用者がいらっしゃいましたが、揺れが収まったところで、職員が非常階段での退避を誘導致しました。その後、当館は通常通り17時まで開館致しましたが、地震以降の利用者は0名でした。

物的被害については、当館はほとんどが移動書架のため書架同士が密集しており、本の落下などは最小限に抑える事が出来ました。それでも通路が開いていた書架の本や、固定書架の大型本が落下して、本に多少の痛みが出ました。幸いにも怪我人はありませんでした。地震の翌週から2週間は、定期の春期館内整理休館に入ったのを利用し、書架の目視点検や、落下した本も元の位置へ戻すのではなく、万一落下の場合でも、より被害の少ない位置への配架移動を行いました。

今後とも利用者にはより安全にご利用いただき、職員は安全に働くための心構えを忘れずに、業務に励みたいと思います。

### ■ お知らせ ■

#### ≫≫ 理事変更のお知らせ

昭和44年より当財団の理事にご就任頂いておりました河竹俊雄(河竹登志夫)氏より、86歳のお誕生日をもって理事を辞任されたいとお申し出があり、平成23年3月14日の当財団評議員会において後任の理事が選任されましたので、同日をもって理事を辞任されました。

大谷理事長よりも、またどの職員よりも長い間、当館の理事を勤められ、図書館の活動にご尽力賜りました。ありがとうございました。今後も図書館を見守って、末永くご助力いただきたいと願っております。

河竹先生の後任として、松竹衣裳株式会社の高橋達郎会長が理事に就任されました。よろしくお願いたします。

### ■ 新着資料案内 ■ 新しく受入れた資料をご案内いたします！

#### 映画資料

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『ランウェイ☆ビート』	○	○	○		

#### 映画プログラム

『アレクサンドリア』

『劇場版アニメ 忍たま乱太郎 忍術学園 全員出動!の段』

『ザ・ファイター』

『METライブビューイング2010-2011』

『ザ・ライト -エクソシストの真実-』

(新規登録資料案内 続き)

松竹系 3 月公演資料

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『恩讐の彼方に』	○	○	○	○
	『伽羅先代萩 御殿・床下』	○	○		
	『曾我綉侠御所染 御所五郎藏』	○	○		
	『源氏物語 浮舟』	○	○		
	『水天宮利生深川 筆屋幸兵衛』	○	○		
	『吉原雀』		○		
南座(京都)	『獨道中五十三驛』	○		○	○
松竹座(大阪)	『取り立てやお春』	○		○	○
博多座	『磯異人館』	○		○	○
	『義経千本桜 吉野山』	○			
	『平家女護島 俊寛』	○			
	『棒しばり』	○			
	『夏祭浪花鑑』	○			

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

他社公演資料

青山劇場	2月	『愛と青春の宝塚 恋よりも生命よりも』プログラム
赤坂RED/THEATER	2月	『ドロシーの帰還』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	2月	『美しきものの伝説』プログラム
紀伊國屋ホール	2月	『コラボレーション』プログラム
	3月	『万国旗の子』プログラム
国立劇場小劇場	3月	『組踊と創作舞踊 おきなわ芸能の今、そしてこれからⅢ』プログラム
国立劇場大劇場	2月	『舞楽』プログラム
	3月	『通し狂言 絵本合法衢』プログラム
サンシャイン劇場	2月	『シラノ・ド・ベルジュラック』プログラム
theatre iwato	2月	『ハムレット デンマークの王子解体新書』プログラム
シアターX	2月	『不思議なバーバ』プログラム、台本
シアタークリエ	2月	『深説・八犬伝 村雨恋奇譚』プログラム
シアターサンモール	2月	『12 12人の怒れる男より』プログラム
帝国劇場	2月	『Endless SHOCK』プログラム
俳優座劇場	3月	『音楽劇 わが町』プログラム、台本
博品館劇場	2月	『ヒロイン 女たちよタフであれ』プログラム、台本
		『DIAMOND DOGS SEOUL Fantasy』プログラム
御園座	3月	『石川さゆり特別公演』プログラム
明治座	3月	『川中美幸特別公演』プログラム、台本

## 演 劇 雑 誌

- 『アート・リサーチ』2011年3月(11号)  
〔《特集》「八百屋お七」から「お嬢吉三」へ—衣裳デザインの創造について—加茂瑞穂／「忠臣蔵もの」の  
艶本 石上阿希／描かれた幕末の京都—『都百景』の制作と構成について— 大塚活美〕
- 『あぜくら』平成23年3月号
- 『舞台芸術通信PROBE』2011年2月5号〔《特集》札幌の演劇 座談会 札幌の演劇を語る(2)〕
- 『舞踊芸術』2011年3月号
- 『Confetti』2011年APRIL Vol. 76
- 『伝統文化新聞』2011年(58号)
- 『演劇ぶっく』2011年4月号No. 150  
〔《特集》表紙のヒト 小林賢太郎／読者が選ぶ！えんぶチャート2010「舞台」「俳優」部門発表！ 《イ  
ンタビュー》長谷川博己〕
- 『演劇界』2011年4月号  
〔《特集》お姫様十人十色 中村芝雀が語るお姫様を演じる心／歌舞伎名作案内／渡辺保 私の歌舞伎遍歴  
由良助と菅丞相／小山三ひとり語り ごまかしの天才 《インタビュー》坂東秀調〕
- 『げき』2011年3月9号〔《特集》岡田陽先生の仕事 《掲載戯曲》「十一ぴきのネコ」井上ひさし〕
- 『邦楽と舞踊』2011年3月号  
〔《特集》大和楽『河』—作品を通して受け継がれていく先人たちの想い—／松風流興流四十周年、松風翠  
穂が目指す和の心と舞踊の道〕
- 『邦楽の友』平成23年4月号
- 『ほうおう』2011年5月号〔《インタビュー》尾上菊五郎／新派四季暦 水谷八重子に聞く〕
- 『JPL』2011年WINTER No. 40  
〔《特集》銀河英雄伝説／トップガールズ／全照協設立35周年記念特集〕
- 『歌舞伎美人だより』2011年3月号
- 『喝采』2011年6月〔《特集》博多座六月公演 六月博多座大歌舞伎〕
- 『国立能楽堂』平成22年11月327号
- 『国立演芸場公演ガイド』平成23年4月号
- 『メセナnote』2011年68号〔《特集》創造力が社会をひらく〕
- 『ミュージカル』2011年3月—4月号  
〔《特集》(1)2010年 ミュージカル・ベストテン選出／(2)『Endless SHOCK』〕
- 『News Letter』2011年3月10号
- 『日本芸術文化振興会ニュース』平成23年4月号
- 『日本照明家協会雑誌』2011年3月号  
〔《インタビュー》奈木隆さんに聞く 《特集》平成22年度日本照明家協会・協会賞 舞台部門推薦作品  
(後期)／平成22年度日本照明家協会・協会賞テレビ部門 経過報告〕
- 『日本舞踊』63巻4月号  
〔《特集》秘曲・新曲サロン 地歌 鉢の木／舞踊写真教室 俣奏楽 うき世道成寺〕
- 『OISTAT日本センターNEWS』Vol. 3・4
- 『大向う』平成23年4月号
- 『ラ・アルプ』2011年4月号  
〔《特集》『ジーザス・クライスト=スーパースター』世界に誇る、劇団四季の『JCS』／稽古場レポート  
23 『ライオンキング』／『夢から醒めた夢』東京公演開幕〕
- 『レプリークBis』2011. April. Vol. 20  
〔《特集》帝劇開場100周年記念公演スペシャル『レ・ミゼラブル』ファイナル！／タカラヅカREVUE  
E&OG GRAPH〕
- 『シアターガイド』2011年5月号  
〔《特集》「レ・ミゼラブル」永久保存版 山口祐一郎×別所哲也×今井清隆×吉原光夫 ジョン・ケアード  
徹底人物相関図&解剖図 鹿賀丈史×石川禪×岡幸二郎×林アキラほか／「欲望という名の電車」松尾スズ  
キ×秋山菜津子 池内博之〕

(新規登録資料案内 演劇雑誌 続き)

『テアトロ』2011年4月号

〔《特集》(1)2011年どうする!?日本演劇／(2)演劇の魅力とは? 《掲載戯曲》第22回テアトロ新人戯曲賞最終審査候補作品『リタイア～ある中小企業の社長の場合～』吉崎浩／『死刑執行人～山田浅右衛門とサンソン』丸尾聡〕

『the座』2011年68号〔『日本人のへそ』〕

## 映 画 雑 誌

『ドラマ』2011年4月号

〔《掲載シナリオ》TBSテレビ系・日曜劇場『冬のサクラ』1～3話 高橋麻紀／NHK総合テレビ 福岡発地域ドラマ『見知らぬわが町』羽原大介〕

『映画時報』2011年3月号

〔《インタビュー》東宝(株)映像事業部 新坂純一取締役映像事業担当 《特集》松竹、角川、ギャガ2011年ラインナップ発表〕

『映画秘宝』2011年5月号

〔《特集》観ずに死ねるか!映画監督100人!／吹替名作劇場／町山智浩の出張版『トラウマ映画館』〕

『映画論叢』2011年(26号)〔《特集》傍役が語る撮影所の日常 東宝映画を裏から見れば〕

『衛星劇場プログラムガイド』2011年4月号

『キネマ旬報』2011年3月下旬号

〔《特集》西部劇の威厳(ディグニティ) コーエン兄弟最新作「トゥルー・グリット」／「塔の上のラプンツェル」公開記念 ディズニー長篇アニメーション50作品の軌跡／ミニシアター時代の今そこにある危機／哀悼 監督・池田敏春〕

『キネマ旬報』2011年4月上旬号

〔《特集》ありがとう、高峰秀子さん／第84回キネマ旬報表彰式／第83回アカデミー賞にもの申す!／チャイナパワーを体現する中国映画界／ヤン・イクチュン×根岸吉太郎〕

『NFCカレンダー』2011年4月号

『日経エンタテインメント!』2011年4月号

〔《特集》世界が認めた「ジャパニーズ」／ヒットメーカー・オブ・ザ・イヤー2011／二宮和也〕

『日本アカデミー賞』2011年第34回

『ぴあ』2011年3/31号、4/14号

『ロケーションジャパン』2011年4月号

〔《特集》大河ドラマの舞台へ／水川あさみ／スペシャル対談 瑛太×松田龍平〕

『SCREEN』2011年5月号

〔《特集》サマームービー2011先取り特集／「ツーリスト」のジョニー・デップ来日詳報!／第83回アカデミー賞〕

『シナリオ』2011年5月号

〔《掲載シナリオ》『八日目の蝉』奥寺佐渡子／第20回新人シナリオコンクール 最終審査結果発表 佳作『燃えさかる部屋』小海途愛〕

『シナリオ教室』2011年4月号

〔《掲載シナリオ》第4回「富士山・河口湖映画祭シナリオコンクール」受賞作 グランプリ『鐘楼のふたり』吉田忠史／準グランプリ『くもり空の向こう』佐藤奈央／準グランプリ『町うたの詩』田中淳一〕

『シネフェックス』2011年April No. 20

〔《特集》「トロン:レガシー」「ハリー・ポッターと死の秘宝 Part 1」「ナルニア国物語／第3章:アスラン王と魔法の島』〕

『松竹(社報)』2011年(162号)

書 籍

『文楽浄瑠璃物語』	竹本住太夫 (作)	正文館
『寄居日記 ぶらっと再発見紀行』	渡辺恭伸 (著)	私家版
『いやいやながら医者にされ』	モリエール (作)、鈴木力衛 (訳)	岩波書店
『エドワード・オールビー全集1』	エドワード・オールビー (著)、鳴海四郎 (訳)	早川書房
『奇跡の人』	ウィリアム・ギブソン (作)、額田やえ子 (訳)	劇書房
『孤客 ミザントロオプ』	モリエール (作)、辰野隆 (訳)	岩波書店
『コクトー戯曲選集1』	鈴木力衛 (編)	白水社
『コクトー戯曲選集2』	鈴木力衛 (編)	白水社
『マクベス』	シェイクスピア (著)、松岡和子 (訳)	筑摩書房
『グリークス 10本のギリシャ劇によるひとつの物語』		劇書房
『稽古の実際』	スタニスラフスキー (講義)、アンターロワ (編)、奥澤三郎 (譯)	未來社
『現代世界戯曲集 世界文学全集25』		河出書房
『コレクション』	山本昌代 (著)	集英社
『こんなシーンでウェディングベル』	金丸弘美 (文)、平野恵理子 (絵)	福武書店
『ジロドゥ研究』	内村直也+鈴木力衛 (訳)	白水社
『Hollywood lovers』		マガジンハウス
『幕があがる』	串田和美 (著)	筑摩書房
『1秒24コマの美 黒澤明・小津安二郎・溝口健二』	古賀重樹 (著)	日本経済新聞社
『映画館へは、麻布十番から都電に乗って。』	高井英幸 (著)	角川書店
『映画俳優池部良』	志村三代子+弓桁あや (編)	ワイズ出版
『平成二十二年度第六回 脚本募集脚本集』		日本演劇興行協会事務局
『作家談義 評論・エッセイ集』	津上忠 (著)	影書房
『女優 森光子 大正・昭和・平成 八十八年激動の軌跡』	森光子 (著)	集英社
『親族代表10th Anniversary Book』		親族代表
『日本芸術文化振興会年報 平成21年度』		日本芸術文化振興会
『武士とはなにか』	国立歴史民俗博物館 (編)	国立歴史民俗博物館

## 松竹大谷図書館 所蔵資料展示

### 第10回「ファッションショーが出てくる映画」関連資料

展示期間：2011年4月1日～4月27日 於：松竹大谷図書館閲覧室

現在公開中の映画『ランウェイ☆ビート』は、高校生が自分たちのファッションショーを開こうとする話ですが、4月は、その公開にちなみ、ファッションショーが出てくる映画の資料を展示いたします。「ランウェイ」とは、ファッションショーでモデルが歩く細長いステージの事です。今回展示した資料の映画に出てくるファッションショーも、様々なステージやスタイルで、映画の1シーンを彩っています。



#### ■「ファッションショーが出てくる映画」関連資料一覧■

- 1、『ズーランダー』 プレスシート(2002公開、米)  
コメディ俳優ベン・スティラーが、無敵の男性スーパーモデルを演じるお笑い系ファッション映画。ショー会場は地下鉄のトンネル！
- 2、『しびれくらげ』 台本(準備稿)(1970公開、大映)  
ネグリジェ姿の女性が、いきなりベッドの上で悩ましいポーズを取るシーンから始まる映画。実は、それはファッションショーが行われている舞台だった、という設定。
- 3、『UNZIPPED アンジップト』 プログラム(1996公開、米)  
NYのデザイナー、アイザック・ミズラヒに密着したドキュメンタリー映画。ショー会場の壁をシースルーにし、舞台裏をわざと見せる演出が話題を呼んだ。
- 4、『CUTE』 撮影台本(1997公開、エヌ・ケイ・ケイ)  
モデル志望の女性が、フィッティングモデルを経て、ショーモデルとしてのビッグチャンスをつかみ、ついには東京コレクションからパリコレの舞台に立つまでのサクセスストーリー
- 5、『ココ・シャネル』 プログラム(1983公開、英/仏)  
貧しい生活から、パリで初めてのコレクションを開くまでに成功したココ・シャネルが、ショーの会場で、これまでの人生を振り返る伝記映画。
- 6、『プレタポルテ』 プログラム(1995公開、米)  
パリ・コレクションの会場を舞台に、ファッション業界の内外を描いたロバート・アルトマン監督作品。有名デザイナーやモデルが数多く実名で登場する。ラストのショーは見る者の意表をつく演出。
- 7、『人間の証明』 プログラム(1977公開、角川)  
東京の高級ホテルを会場に、人気女流デザイナーによるファッションショーが始まって間もなく、同じホテルのエレベーターで、黒人青年が殺された。捜査が進むにつれ、無関係と思われたデザイナーと殺人事件が、絡んでゆく。
- 8、『華麗なる闘い』 プログラム(1969公開、東宝)  
有吉佐和子原作の『仮縫』を映画化。クライマックスは高級洋装店の経営を任された若き主人公を打ちのめす、前経営者の斬新なショー。
- 9、『セレブリティ』 プログラム(1999公開、米)  
マンハッタンを舞台に、セレブ達の裏側を描くウディ・アレン監督作品。作中のショー会場は、NYの有名ロケ地、クイーンズボロ・ブリッジが見える温室。

財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 ADK松竹スクエア 3階 TEL 03-5550-1694

<http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>